

かけ算パズルにちょうせんしよう

単 元	九九の表とかけ算	対象学年	3 年
ね ら い	九九の表のどの部分のピースか考えることで、九九表のきまりについて理解を深めることができるようにする。		

1 準備するもの

教師：九九表の枠を拡大したもの、九九パズルの拡大ピース（13枚）

2 学習のしかた

- (1) 簡単なピースを例題として取り上げて、どのように考えれば枠にあてはまるのか確認する。
 - ・空欄に当てはまる数字とそのように考えた理由を発表する。
 - ・空欄に当てはまる数字を書き、九九表の枠の拡大台紙に置く。
- (2) グループに1枚ずつピースを配る。そしてピースの空欄に当てはまる数字と九九表のどの部分にピースがあてはまるかを考える。
- (3) 難易度の高いピースについては集団解決の場で取り上げの、空欄に当てはまる数字と九九表のどの部分のピースかを考える。

3 学習上の留意点

- ・空欄に当てはまる数字を発表するときには、なぜそう考えたのかと教師が発問をし、子供が話した理由を板書し、考え方を整理していく。
- ・3つのレベルに分けたピースを作ったが、それぞれのピース（問題）が難しくなりすぎないようにする。
- ・空欄に当てはまる数字がどうしても分からない場合は、教科書の九九の表を見てよいことを伝える。

4 学習の効果

- ・空欄に当てはまる数字、九九表のどの部分のピースかを考えることで、かけ算のきまりの理解を深め、考える力を養うことができる。
- ・全部のピースを置くと1枚の絵が完成するようにし、より楽しみながら問題を考えることができるようにするとよい。

